

便利屋・・・

作／安田成伸

エレン

ジョージ

便利屋

舞台には別空間と見える三つの部屋。現在を示す部屋に灯り。

下手の部屋、明転。

エレン、落ち着かない様子で電話をかけている。

上手の部屋、明転。

便利屋の事務室か。時代を感じさせる。

エレン

（愚痴っぽい、自己中心的な精神症）もしもし！

便利屋

はい、何でも屋、ベンリーです。

エレン

あの、お仕事って何でも引き受けてくださるの？

便利屋

はい、お金を貸すこと以外でしたら何でも！

エレン

私の家の前にとても恐ろしいモノがあるの、それを・・・

便利屋

ゴミの始末のご依頼ね！

舞台中央（小上がりが見え）ジョージの部屋、徐々に明転。  
雨で乗れた体を拭きながら電話をかけている。

エレン

（電話がキャッチになったことに気づき）あつごめんなさい。

ちよつと、一度切ります。後でまたかけ直しますわ。（ボタン押す）

便利屋

えっ？（電話が切られたことに首をかしげ）

便利屋の部屋、溶暗。ジョージとエレンの会話始まる。

ジョージ

（落ち着いた様子で）もしもし

エレン あー、ジョージ何で電話出てくれないの？

ジョージ すまん、今帰ってきたんだ。

エレン そうなの・・・お疲れ様。ジョージ、すぐに家へ来て欲しいの。

ジョージ どうかしたのか？

エレン うん。凄く恐ろしいことが起こったの！でも大丈夫、私は無事よ。

ジョージ 何があつたんだ、こんな大雨なのに来て欲しいだなんて・・・

ただことじゃないようだな。

エレン そうなの！・・・ううんジョージ、無理にとは言わない、だけどきつとこの惨劇を聞いたらその濡れたコートをもう一度着て、通りを走るタクシーに飛び乗るはずだわ！。

上手、便利屋の部屋、見えてくる。電話をかける。

ジョージ 大変なことが起こっているのは分かった・・・すまん、電話が入った。

ちよつと待ってくれ、多分仕事だ。(ボタン押す)

エレン ジョージ、ジョー・・・(保留状態)

この後、エレンは部屋の中でいらいらしながら保留音を聞いている  
時折独り言を受話器に向かって話している

ジョージ もしもし

便利屋 あつ、ベンリーです。あの、料金の支払いのことですが・・・

ジョージ ああ、振込で良い？

便利屋 はい、構いません。それで料金なんですが・・・

ジョージ いくら？

便利屋 現場での作業内容で、少々お約束のお値段を越しちゃったんですよ

ジョージ で？

便利屋 63万4千円で・・・消費税はサービスさせて頂きました。

ジョージ 随分出たね。

便利屋 はい、明細送りしましょうか？

ジョージ いや、いい。内容を読み上げてくれ。

便利屋 はい。(資料を手に)えーっと、

エレン ジョージだったらいつまで待たせるの？私の一大事よ、私がこんなに落ち着いて  
いるから大変さに気づかないの？でもこんな悪戯くらいで私は動じないわ・・・  
もつ、ジョージったら！

便利屋 大きいのから言いますね、現場での作業代、及び処置代として38万。  
ジョージ うん？

便利屋 あっ、あの〜雨のせいで作業に諸々の料金増しが発生しまして・・・  
お伝えしてませんでしたか？

ジョージ で？

便利屋 猫の購入代、18万。

ジョージ は！

便利屋 18万円。

ジョージ 買ったのか！( 電話を叩き、声を荒げる )

エレン !

ジョージが怒りで電話機を叩いたことで、エレンの受話器にも音が漏れる。  
ジョージの会話が聞こえるが、耳を離し考える

便利屋 はい。黒猫の指定がありましたし、昨日の今日ですぐには・・・

エレン、恐る恐る聞き始める

便利屋 それに、隣町で入手するとしか承ってませんでしたし。

ジョージ だからって、買うなんておかしいだろう、すぐに始末するのに！

便利屋 はい・・・他の色は何匹か見つけたのですが・・・時間内におさめる為には  
確実な方法だと思います・・・

ジョージと便利屋の会話OFF

エレン ( 盗み聞きに罪悪感を感じ、受話器を離す ) だめ、いけないわ。

いくらジョージの電話でも人にはそれぞれ違う世界があるのよ・・・

でも、もしかしたらジョージのお仕事に良い助言ができるかもしれないわ！

そうよ・・・あんな荒げたジョージの声はただごとじゃないはずよ。( 受話器を  
耳に当てる )

ジョージと便利屋の声ON

ジョージ わかった、とにかく段取り通り済ませてくれたんだな。

便利屋 はい、それはもちろん！

ジョージ・・・金は明日。

便利屋 有り難うございます。

便利屋、電話を切ると同時に部屋、暗転。ジョージは電話のボタンを押す。

ジョージ もしもし

エレン ? ( わからない )

ジョージ エレン

エレン ( あわてて ) はい! あっ、ごめんなさい。あんまり待たされちゃったから・・  
忙しいの?

ジョージ いや、取引先から直接電話があつて。

エレン 大変ね!

ジョージ それで、大丈夫なのかい?

エレン そうよ! ドアの前我真つ赤に染まった塊が・・・

ジョージ 染まった・・・?

エレン 不吉な・・夢を見たの、恐かったわ。でも、もう大丈夫、ジョージの声を聞いて  
たら落ち着いたわ。忙しそうだからまた連絡する、おやすみなさい。

ジョージ いや、心配だから行くよ

エレン ごめんなさい、こんなに眠いのは久しぶり ( ウソあくび ) 明日来て、お休

みなさい。( 電話切る )

ジョージ エレン・・・!

便利屋の部屋、見えてくる。アクビをしながら鼻歌を歌い、書類整理をしている  
エレン慌てた様子でダイヤル ジョージは出かける準備、コートのポケットの  
メモに気づく。見て暫く考える。

エレン もしもし

便利屋 はい! 何でも屋ペンリーです。

エレン 先ほどお電話しました・・・

便利屋 はいはい、お待ちしていました。ゴミの処理の・・・

エレン そうよ。すいませんですけど、今からお願いでできるかしら?

便利屋 こんな時間に!・・・構いませんが、この時間ですと割り増し料金がかかりま  
すが?

エレン 構わないわ、早くやってちょうだい!

便利屋 モノの大きさと種類によっても、準備するモノとか、あと・・料金も変わって

くるので ( 面倒くさそう )

エレン 猫!

便利屋 は？

エレン

猫の死骸よ！あなた方なら慣れたモノでしょ！女だからってバカにしないでよ。私だって道具と丈夫な袋があれば始末できるのよ……でも彼が来るの、だからこの雨でしょう、スープを作るから、それどころじゃないのよ。  
はいはい、見られたくないんでしょ。そりゃそーですよね……

便利屋

便利屋の違う電話が鳴る。メモを見つつジョージが電話をかけている

便利屋

奥さん、ちよつと待ってて。( 保留にする )

エレン

ちよつと、あなた！急いでるのよ……( ため息 )

便利屋

何でも屋ベンリー！

ジョージ

先ほどお電話頂いた……

便利屋

はい！どうされました？

ジョージ

黒じゃないと意味が無いと、と。

便利屋

はい、ご注文通りに……

ジョージ

あなたが？

便利屋

いえ、他の者が……

ジョージ

黒ですね、本当に？

便利屋

分かりました、現場の者にもう一度確認してみます。( 電話切る )

### ジョージの部屋溶暗

便利屋

( その電話で ) もしもし、ヤバイ、ばれたかもしれん！……ああ、

黒いヤツを用意しておいてくれ、いなけりゃいつものバーさんこの……あ

あ、頼んだぞ。

### 保留の電話を思い出し

便利屋

もしもし、

エレン

( 憤慨 ) いつまでお客を待たせるの！私は一刻を争うのよ、ジョージは私  
が “ 来ないで ” って言っても、心配で飛んでくるはずよ。私もバカだったの  
よ、心細くて思わず電話をかけてしまったのよ、人違いか無差別な悪戯にした  
って、あの猫の様を見たら、いくらジョージでも私を「どんな人間だ？」って  
思うでしょ！だから早く来てちょうだい

便利屋

( 面倒くさそう ) あいにく、当社はその手の仕事で、只今立て込んでおり  
まして……

エレン 良いのかしら・・・知ってるのよ、お宅、家に近いから、私は隣のブロックの「メゾンド・シャレード」なのよ。

便利屋 はいはい・・・ええっ！

エレン ねっ、近いでしょう、こんなに近いのに断ったら、あなた大変よ。

便利屋 あー、今一人、帰ってきました、すぐにお伺いします。

エレン まっ、ゲンキな方。良いわすぐに来て。

便利屋 それで、後始末と言いますが、その後のクリーニングなどの準備があります

ので、状況を詳しくお尋ねしても良いですか？

エレン 玄関の前に猫が首の辺りを切られて血に染まってるのよ。

便利屋 どんな猫ですか？

エレン 汚い。

便利屋 何色の？

エレン わからないわ！汚れているのよ。

便利屋 ・・・・黒ではなくて？

エレン あなた！やめて頂戴！黒だったら大変よ。子供の頃死んでる黒猫を「かわいそ

う」と思っで撫でてたら、たくさんのモノがその毛の中で動いていたのよ！私

は気を失って二日間、目を覚まさなかったのよ。私がこうしてお電話できてい

るの！黒じゃないわ、汚れた白よ！

便利屋 ・・・・分かりました、すぐに伺います。

エレンの部屋、溶暗 便利屋、電話を切りすぐにダイヤル。

ジョージの部屋見えてくる

ジョージ (電話をかける)もし・・・

エレン (便利屋だと思い)あールームナンバーね、まったく904よ。

ジョージ 起きてたのか？

エレン ジョージ！

ジョージ 心配で差・・・行くよ。

エレン うれしいけど、大丈夫・・・、でも後、一時間くらい休めば・・・

ジョージ エレン、その恐い夢教えてくれないか？

エレン いいけど、恐いわ。

ジョージ やっぱり、猫の・・・

エレン ごめん、じょーじ、思い出したくないの。

ジョージ 黒の？

エレン そんな分けないでしょーもしそうだったら、今こうして話してられない。

ジョージ そうだね。

エレン 夢だし・・・その夢も処理するの。

ジョージ 誰か呼んだの？

エレン まさか！私にはジョージしかいないじゃない。

ジョージ そうだね・・・

ジョージ電話切る、ゆっくり包丁を出す。部屋溶暗

エレン電話を一旦切る。すぐにダイヤル。部屋溶暗

便利屋の部屋見えてくる。

便利屋

（電話）はい、ベンリーです。ああ、どうも！今、向かってますよ・・・ええ、904ですよね・・・、名前、あれ何ってなかったでしたか、・・・、はい、向かってますので、切る（アブねー、アブねー）。

（電話）はい、・・・おお着いたか。。なんで猫の音がするんだよ、そんなモン確かめねーよ（電話鳴る）、ちょっと待てよ・・・はい、ベンリー、どうも・・・、はい、なんでも・・・します、はい、います・・・、では・・・わかりました。おう・・・！予定変更。

暗転

時間経過

雷鳴

エレン

（悲鳴と共に一瞬部屋明転。切られて絶命）ジョージ・・・

暗転 雷鳴 ジョージの部屋見える。ずぶ濡れの姿で血の滴る黒猫を持ち

立ちつくす 暗転後、時間経過

便利屋

はい、何でも屋ベンリーです！

暗転

＝幕＝